

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 24 年 11 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 2～図 7）

19 日に気象庁地震火山部及び地球環境・海洋部が海上から実施した観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。また、赤外熱映像装置¹⁾による観測では、島内の地表面温度分布に異常は認められませんでした。前回の観測時（2012 年 8 月 30 日）と比べて状況に特段の変化は認められませんでした。

28 日に海上保安庁が実施した上空からの観測でも、硫黄岳火口からわずかに噴気が確認されました。また、硫黄岳火口南西海岸で変色水が確認されました。

- 1) 物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図1 硫黄鳥島 火口位置図



図2 硫黄鳥島 硫黄岳火口（島西側から撮影）

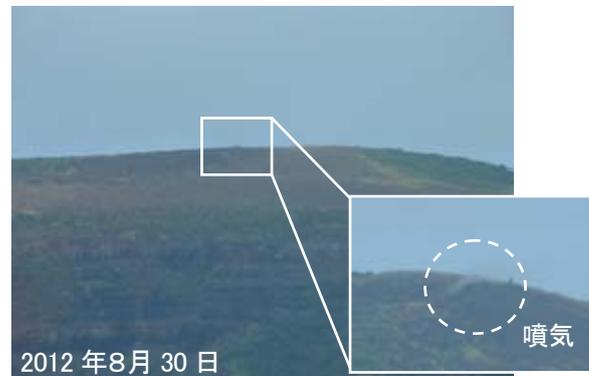
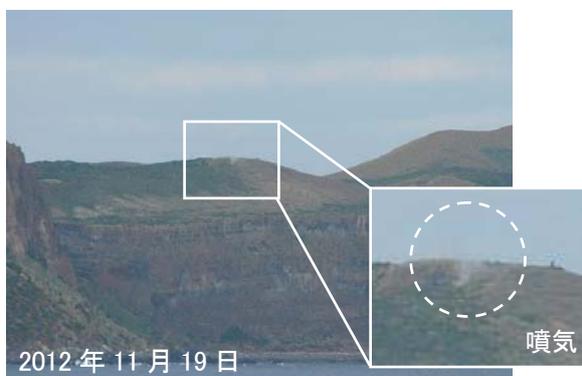


図3 硫黄鳥島 グスク火山火口の状況（島東側から撮影）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

※この記号の資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

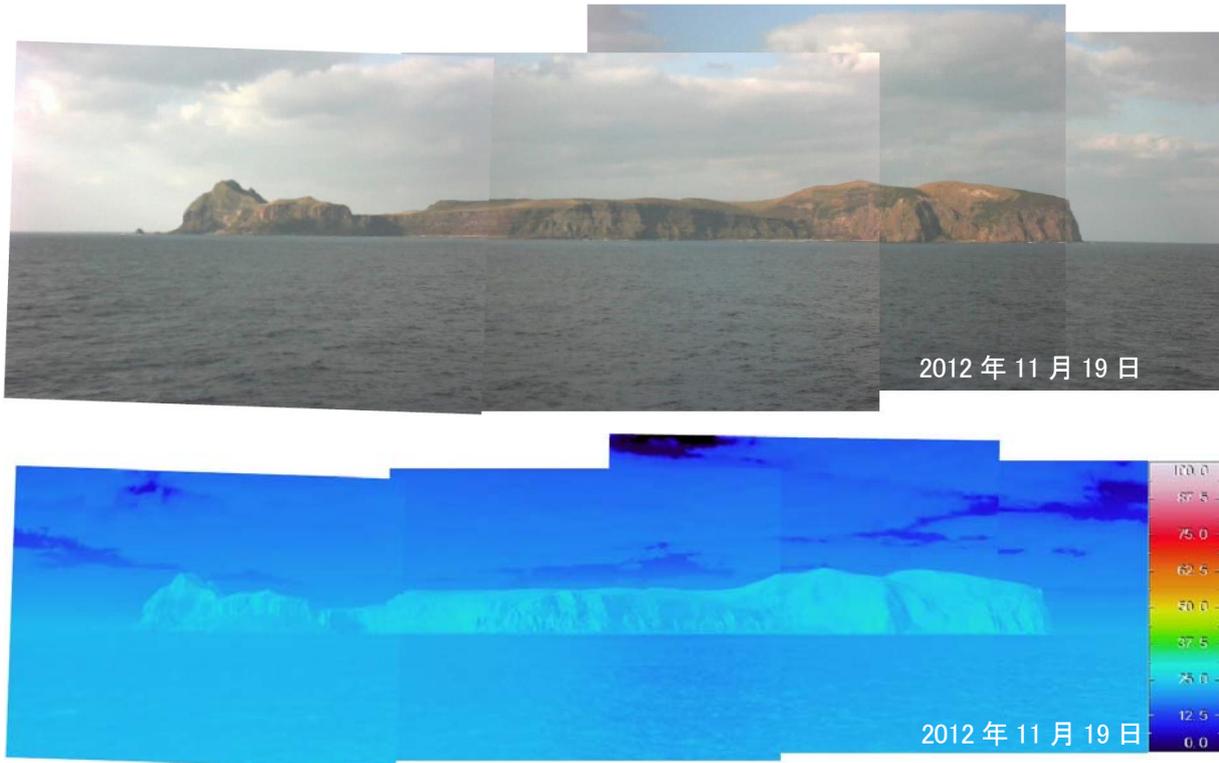


図4 硫黄島 海上からの島の遠望と赤外熱映像装置による地表面温度分布の状況
(島東側から撮影 上段:可視画像 下段:赤外熱映像)

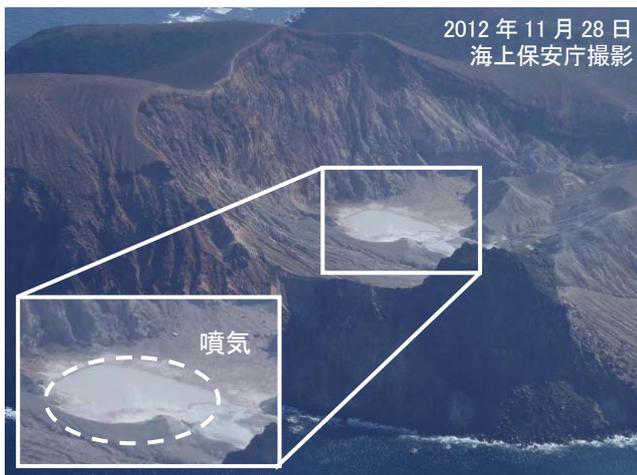


図5※ 硫黄島 硫黄岳火口内の状況
(島西側上空より撮影)



図6※ 硫黄島 グスク火山北壁の状況
(島西側上空より撮影)



図7※ 硫黄島 硫黄岳火口南西海岸の変色水の状況
(島西側上空より撮影)